

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	道路課長 秋山 崇	
都整-14	交通安全施設維持事業	☒ 自治事務	主管課	道路課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	交通安全施設等維持事業	道路ライン等設置業務、ガードレール、カラー舗装、維持修繕		— / —	—	—	—
				6654 / 6711	9,070		
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	6654 / 6711	9,070		
		事業費の合計(千円)		6,654 / 6,711	9,070		
		人件費(千円)		7,412	8,121		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.4	0.4	0.5	0.9	1.0	
会計年度任用職員	0.2	0.2	0.4	0.4	0.2	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	交通安全施設等維持事業	小中学校からの要望やパトロールにて確認した箇所を実施しており事業量の変動するため、指標を設定しないこととする。	道路ライン等の適正な維持管理を行うことで、安全で快適な生活が送れるまちづくりに寄与した。	市民要望や通学路点検において、相応件数の要望があるが、全ての要望に応えることができていない状況である。このため、令和6年度については、より多くの要望に応えられるよう、増額要求し対応したい。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
道路ラインやカラー舗装の修繕等については、事務の効率化を図ったものの、通学路点検、地元要望が多くあり未対応のものもあったため、令和6年度予算を増額した。更なる予算増額については、今後の実施状況を踏まえて検討していく。					
道路課の事業のほか他課の事業(委任等)及び無電柱化にかかる事務により、職員5名分の人員が不足している。なお、令和6年度の道路課における職員の配置人数は、定数に対して2.5名分不足している状況である。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--